



# 決算審査 特別委員会

## 令和2年度 各会計の決算を認定しました



令和2年度決算特別委員会が、8月25日・9月13日・14日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について審査を行い、9月17日の本会議において認定・可決されました。

### 令和2年度 一般会計・特別会計決算書

単位:円

会計別	歳入	歳出	差引残額	
	決算額(A)	決算額(B)	(A-B)	
一般会計	34,232,401,010	32,862,322,124	1,370,078,886	
特別会計	国民健康保険事業	6,846,724,993	6,759,668,293	87,056,700
	後期高齢者医療	1,314,738,069	1,261,546,018	53,192,051
	介護保険事業	5,321,482,882	5,292,489,587	28,993,295
	住宅新築資金等貸付事業	4,221,918	1,090,497	3,131,421
合計	47,719,568,872	46,177,116,519	1,542,452,353	



### 令和2年度 公営企業会計決算書

単位:円

会計	科目	決算額	会計	科目	決算額
水道事業	収益的収入	1,468,235,926	下水道事業	収益的収入	1,939,055,833
	収益的支出	1,251,266,726		収益的支出	1,478,671,222
	収益的収支	216,969,200		収益的収支	460,384,611
	資本的収入	25,338,700		資本的収入	265,556,130
	資本的支出	482,873,033		資本的支出	881,365,821
	資本的収支	▲457,534,333		資本的収支	▲615,809,691

※:不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

### 令和2年度 市債・基金残高

単位:千円

区分	R元年度末	R2年度末	増減額
市債	22,765,960	21,854,253	▲911,707
基金	5,234,042	4,913,742	▲320,300





# 太宰府市の お金の使い方をチェック

**Q** コミュニティバスまほろば号の内山線は、乗車人数が11万人も減少しているが、予定通り今年度に市外者の運賃を2倍にするのか？

**A** 新型コロナウイルスの影響で観光客が減少しており、運賃改定のタイミングを見計らっていきます。



**Q** 各校区自治協議会と各自治会における補助金を活用する事業等の実施状況は？

**A** コロナで事業ができない状況であり、防災関係の備蓄品の購入などに補助金をあてていますが、例年よりも繰越額が若干増えているようです。

**Q** 自治会におけるコロナ対策補助金の使い方は、公平・公正なものとなっているか？

**A** 金額が大きい場合は市役所担当課へ相談もあり、複数社の見積もりを取るようお願いしています。

**Q** 平成30年度から令和2年度にわたり保育園の待機児度数は90名前後と変化がないが、どのような待機児童対策をしてきたのか？

**A** 既存保育園の定員増や、各施設の受け入れ人数を増やすなどを行いました。



**Q** コロナ禍におけるゴミの排出状況はどうなっているか？

**A** 可燃ごみについては減少しましたが、家の片づけにより燃えないゴミ・粗大ごみが増加した分、全体的には前年度比約31t、約0.15%の増加になりました。



**Q** プレミアム商品券に関して、だざいふペイが使えるキャッシュレス対応店舗の普及状況は？

**A** 利用可能店舗は225店舗です。

**Q** だざいふペイについて、市外の購入者と宰府地区(参道周辺)での利用状況について？

**A** 市外の購入者は通常が10~20%のところ45%でした。宰府地区での利用状況は20%程度を予想していましたが10%未満でした。



**Q** 観光宣伝費(約282万円)の効果の検証を行っているか？

**A** 県の物産振興会が主導する事業であり、観光プロモーションの効果を検証するデータはありません。

**Q 太宰府市日本遺産活性化協議会補助金約1,227万円の用途は？**

**A** 観世音寺のバーチャルリアリティーの制作、パンフレットの増刷、ホームページの更新などに支出しました。

**Q 再審査となっている日本遺産「古代日本の『西の都』」の状況は？**

**A** 現在のところ、事務局である福岡県が主導して再審査に備えています。



**Q 大宰府展示館の入館者減少に伴い、入館料を無料に戻す検討はあるのか？**

**A** 現在は推移を見守っているところです。令和3年度の決算が出る頃に、再度協議を行いたいと考えています。

**Q 成人式を中学校単位で実施したことの検証は？**

**A** 費用はほとんど変わりませんでした。コロナ対策として密を避けて分散するメリットがある一方、体育館のトイレなどの設備が使いにくいデメリットがありました。



**Q ふるさと太宰府応援寄付金の約4億円に関して、なぜ多額の寄付を集めることができたのか？**

**A** 一概に理由を特定するのは難しいのですが、福岡県産品の17品目が県内どここの市町村でも取り扱えるようになったことが一番の理由ではないかと思えます。

**Q 令和2年度の一般会計決算に関して、市長・執行部が黒字と利益還元ばかりを言っているのに対して、監査委員は冷静に分析をされているが、なぜこうも評価が異なるのか？**

**A** 監査委員の意見も大変重要な指摘だと考えています。私どもとしては、歳出の増加も予想されますので、市民に還元をしていくことと、将来への備えを行っていくことを説明しているところです。

**Q 令和3年度の繰越金に関して、「財政調整資金にしっかりと積み増すべきではないか」という意見が複数の議員からあったが、見解を伺う。**

**A** 市の理想的な形として基金にどれくらいの額が必要なのか、そうした大枠の議論もさらに活発にやっていきたいと思っています。



**Q 会計年度任用職員に伴う人件費の増額約4億6千万円に関して、今後どのように考えるべきか、見解を伺う。**

**A** いままでの物件費としてではなく、人件費及び職員給与費として認識していきたいと思っています。

**Q コロナに伴う新しい生活様式で上水道使用量が増えており、今後もこの傾向がづくと思われるが、この増加分についての見解を伺う。**

**A** コロナに伴う収益の増加については、今後の動向を見ながら対処していきたいと考えます。